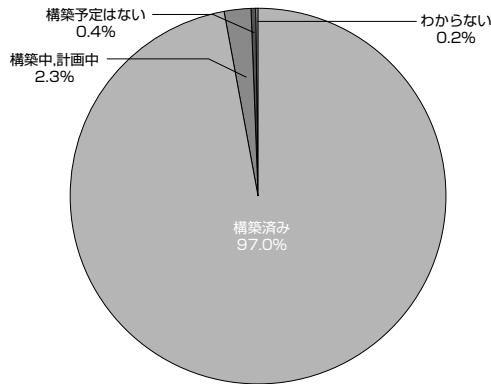


第4章 企業

LAN/ハードウェア/サーバー

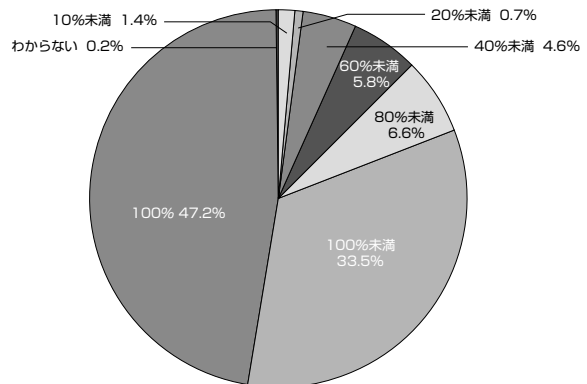
社内の8割の機器で利用可能に

資料1-4-10 社内ネットワーク (LAN) の構築有無 N=1,794



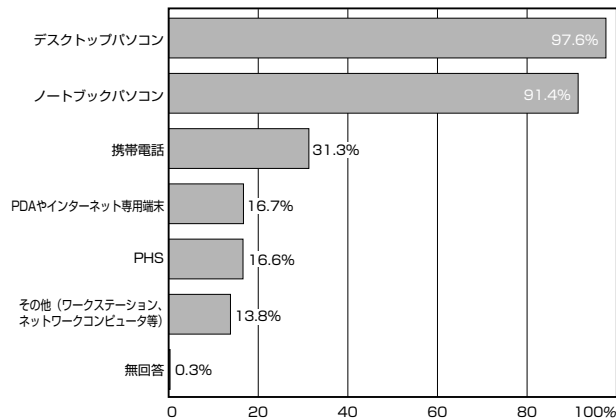
© Access Media/impress,2002

資料1-4-11 インターネットが利用可能なハードウェアの比率 N=1,725



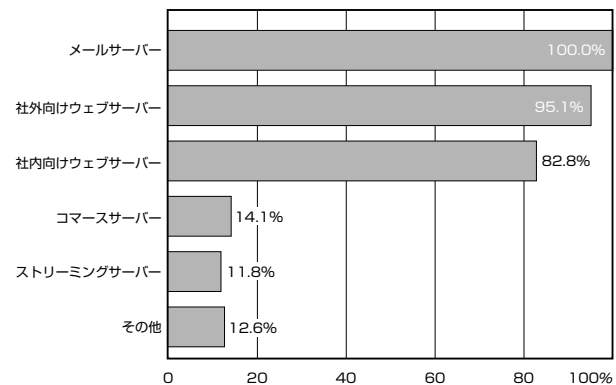
© Access Media/impress,2002

資料1-4-12 社内のインターネット利用機器 N=1,725



© Access Media/impress,2002

資料1-4-13 現在利用中のサーバー形態 N=1,725



© Access Media/impress,2002

解説

■LAN/ハードウェア/サーバー

昨年92.5%だった社内ネットワーク (LAN) の「構築済み」企業は今年97.0%と増加した (資料1-4-10)。それにもない、「構築中、計画中」は昨年の6.3%から2.3%に減少した。従業員規模別では10人未満の規模を除き96%以上が構築済みとなっている。

インターネットが利用可能なハードウェアの比率 (資料1-4-11) については1999年から毎年聞いている。企業内のハードウェアの台数に対してインターネットが利用できるのは平均で41.1% (1999

年)、71.0% (2000年)、79.8% (2001年) と順調に伸び、今年86.1%にまで達した。このことから企業のインターネット利用が企業内で着実に浸透してきている状況がよくわかる結果となった。

また、社内のインターネット利用機器 (資料1-4-12) については、1企業当たり平均2.68種類の機器からインターネットの利用が可能である。これを従業員規模別でみると5000人以上で3.06、1万人以上で2.93と規模の大きい企業で利用機器の種類も多いことがわかる。

利用中のサーバーの形態 (資料1-4-13)

については、昨年と比較すると1社当たり2.93から3.16と全般に増加しており、複数のサーバーを利用する企業が増えていることがわかる。特に社内向け、社外向けのウェブサーバーの増加は共に顕著である。

最も利用率が高いのは昨年同様「メールサーバー」で一昨年の91.0%から2001年は99.8%、今年初めて100.0%となった。

また、エレクトリックコマース (EC) の「コマースサーバー」を利用している企業は一昨年から昨年にかけては11.2%か



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp